

# 関西現代俳句協会 俳句大会 会報

No. 39

2010. 10. 20

昨年第一回を上回る沢山の方から多くの秀句が寄せられたことは、主催者一同にとつて誠にありがたいことである。

## 第二回「関西現代俳句大会」開催

### 沢山のご協力ありがとうございました

―三四八人の方から、一四七六句！―



俳句大会選者の皆さん

第二回関西現代俳句大会は去る四月二十四日(土)、大阪市中津のラマダホテル大阪において、同時併催の理事会、総会、懇親会と共に開催された。当日は現代俳句協会の安西篤幹理事長を来賓に迎えて、宇多喜代子顧問始め総勢一二名の関西現代俳句協会会員らが集い盛会であった。

### 「第二回 関西現代俳句大会」入選句(計、十八句)

#### 大会賞(一位)

寒稽古海へ一礼して終る

荒川 美邦(京鹿子)

#### 秀逸賞(二位)

信頼に足る大根の太さかな

有本 雄美(季流)

葱抱いて土の匂いの母が来る

東金 夢明

年輪を刻まぬ石と冬に入る

森田 智子(樫)

生徒みなひまわりとなり歌ひけり

木本 晴夫(サルビア)

#### 入選賞(三位)

八月の闇を書庫より持ち帰る

佐藤日田路(ロマンチ)

死者の碗割って枯野を遠くする

藤井美智男(青群)

母の言ふきのふはむかし苜蓿

竹内 久子(京鹿子)

ふだん着でいつもの願い初詣

渡辺 善子(暁)

しゃぼん玉毀れ戦争語り出す

志村 宣子(渦)

バス降りて冬の銀河の端歩く

古梅 敏彦(南海)

十六夜の結び目ゆるき小風呂敷

鷺山 珀眉(京鹿子)

#### 佳作賞(四位)

木枯や酒蔵の窓昼灯す

山田 和(京鹿子)

紅をさすのみの手鏡朧の夜

桑田 和子(暁)



豊田会長にて総会に

わが恵方0番線と決めて立つ着ぶくれて球体感覚の日常節分会鬼の後にうすあかり高々と振って別れの冬帽子(入選作品は関西現代俳句協会のホームページで紹介しています)

井尻 妙子(京鹿子) 若森 京子(海程) 吉川多佳美(京鹿子) 汀 菜美(風樹)

第二回俳句大会の選者は、毎年半数ほど入れ替えて新風を吹き込むという運営方針に準拠し、次の方々にお願いした。第一回に引き続き、豊田都峰(京鹿子)、和田悟朗(風来)、花谷和子(藍)、赤尾恵以(渦)、小泉八重子(季流)、室生幸太郎(暁)、吉田成子(草樹)、高橋将夫(槐)の八名、また新しく、鈴鹿仁(京鹿子)、和田謹次(草風)、梶山千鶴子(きりん)、西村逸朗(渦・蕪の会)、政野すず子(暁)、三木星童(風羅)、出口善子(六曜)、平田繭子(風樹)、塚原哲(花象)、的井健朗(杭・頂点)の十名、計十八名の方々である。

なお、別掲の通り、かねてより要望の多かった各選者による特選賞が、いよいよ来年の第三回大会より新設されることとなった。「乞う、ご期待」である。

### 「選者について」

### 「投句および選句」

第二回大会は、おかげをもちまして前回を大幅に上回るご協力をいただき、参加者は三四八名、投句数は一、四七六句の多きに達し、予想を上回る盛況ぶりであった。



近藤詩寿代さん(藍)の講演

これを直ちに作者無記名の「選句稿」にまとめ、十八名の各選者に送った。選句は一名四十句とし、特選等は一切付けないでお願いした。会員の皆様はもとより、会員以外の俳句愛好者の皆様のご多忙中快く選者をお引き受けいただいた十八名の方々に、また、類似句の調査にご協力願った現代俳句協会事務局のお力添えにも、厚く御礼を申し上げる次第である。

### 「大会当日」

関西現代俳句協会における年間の二大行事となったそのひとつ、「関西現代俳句大会」は四月十日、今や協会行事恒例の会場となったラマダホテル大阪にて開催された。当日は投句者も含め一・二名の参加を得て会場はほぼ満席の状態、あまりの熱気でクーラーが効かないほどの盛況ぶりである。会場正面には和田悟朗顧問始め選者の皆さんが列席され、また、会場最前列には来賓の安西篤現代俳句協会幹事長と宇多喜代子顧問が坐られ、まさに壮観の一言に尽きる。そして、選者席の後方には今回より用意されたかわいいたくアクリルケース入りの賞状と、副賞となる現代俳句協会本部よりいただいた創立六十周年記念の豪華本『俳句夢一夜』や「現代俳句の百冊」シリーズの句集が並んでいる。大会は桑田和子さん(暁)の名司会で始まった。豊田都峰会長の挨拶、桑田さんによる選者紹介の後、聞き惚れる



俳句大会表彰（若森京子さん）

美声の近藤詩寿代さん（藍）による披講を交えながら、入選者と入選句の発表が行われた。今回、栄えある大会賞に輝いたのは荒川美邦さんである。荒川さん始め入賞者十八名の皆さんには、豊田会長より先ほど紹介した賞状と副賞が授与された。選者・参加者にはこの日初めて「入選作品集」が手渡され、入賞者の発表と表彰のたびに、会場には割れんばかりの拍手喝采と、どよめきがわき起こった。

表彰のあと、和田悟朗顧問、政野すず子顧問ほか六名の選者から講評をいただき、豊田会長が総評を行った。時間の都合で全員の講評はいただけなかったが、実的確かつユーモアあふれる批評で、ありがたいことであった。

大会のあと、同じ会場で「総会」、次いで、会場を変えて懇親会が開かれ、協会の団結と会員相互の交流を更に深めて、盛り沢山の行事は滞りなく終了した。（前田 霧人）

### 大会入選作品講評

豊田 都峰

#### 大会受賞作品

寒稽古海へ一礼して終る

閉会式の情景であるが、いい瞬間、そして稽古の主舞台になった海への感謝の気持ちを表す動作を把握、簡潔にまとめた手法を評価する。

#### 秀逸賞作品

信頼に足る大根の太さかな

もつとも大根らしい形をいい措辞で表現。

葱抱いて土の匂いの母が来る

中七の表現が、母の人柄さえ表す。

年輪を刻まぬ石と冬に入る

冬に入るが、その冬は何を刻むのか。何も刻まない素直さが感じられる。

生徒みなひまわりとなり歌ひけり

生徒とひまわりを直接結びつけたのは手柄。

#### 入選作品

八月の闇を書庫より持ち帰る

しゃぼん玉毀れ戦争語り出す

社会的な内容に挑戦

死者の碗割って枯野を遠くする

母の言ふきのふはむかし苜蓿

バス降りて冬の銀河の端歩く

十六夜の結び目ゆるき小風呂敷

これらは季語のあしらいが効果的

ふだん着でいつもの願い初詣

なんでもないことだが、季語でまさしく俳句になる手本のような作品。

現代俳句協会は個人個人の資格で入会されている。まさしく、俳句作品がすべてで、それ以外のなものでもない。年一回の俳句大会であるからこそ、自信作をお出しいただければたいへんありがたい。

# 今年も頑張りましょう

関西現代俳句協会

会長 豊田都峰



今年の夏は記録的な暑さでたいへんきびしいことですが、会員の皆様方にはすこやかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

会長に就任以来大過なく今日がありますこと、皆様方の一方ならぬお力添えと厚くお礼申し上げます。

毎年の課題として会員の増加を取り上げさせていただいております。関西

の会員数ですが、資料によりますと

平成一五年度 一三三六名

平成二二年度 一〇七〇名

(八月三一日現在)

これらのことは皆様方は十分認識されている結果ですが、しかし頑張りましょう。

次は当然、その入会された方をはじめ多くの会員方に満足頂ける活動についてですが、総会・俳句大会、忘年句集祭の年二回を予定、すでに俳句大会は参加数も増える形で終り、昨年は始めての「現代俳句講座」地方開催も盛会裡に終え、今年はこの十一月に「五七五の世界」講座開催の企画を立てております。ますます俳句を通しての楽

しい場を作つてまいりたいと念願しております。

どうかよろしく願ひします。

謹んでご逝去を  
お悼み申し上げます

現代俳句協会 特別顧問(前会長)

松澤 昭氏

には、去る八月十三日、脳梗塞のため逝去されましたので、会員の皆様は謹んでお知らせ致します。享年八十五歳。尚、葬儀は去る八月十九日、親族および「四季会」により、滞りなく終了致しました。

平成二十二年八月二十日

関西現代俳句協会

会長 豊田 都峰

# 関西現代俳句協会事業報告

平成21年7月1日～22年6月30日

会長 豊田都峰

## ◆忘年句集祭の開催

(平成二十一年十二月二十九日)

関西現代俳句協会には恒例となる名物的催しとして、三十五年目を数える「忘年・句集祭」がある。今年会場はラマダホテル大阪の都合で、十一月二十四日(日)に開催したが、参加は約百名の方々に、例年にとらぬ盛り上がりを見せた。ご承知のようにこの祭はその前年の句集祭以降に出版された会員の作品、句集、エッセイ、評論などを持ち寄って展示している。句集の場合は作者自選の一句を墨書して会場の一面に張り出すのであるが、それに作者の挨拶の機会もあって、これから自分も句集出版したいと言う方々からは参考になると喜ばれている。何しろ



忘年句集祭 会場風景 (背景に墨書の句を掲げた)



総会風景 (中央 安西幹事長)

に着いた活動ぶりが示され、まだまだ関西の会員の實力は健在と確信できたほどである。来年度も更に多くの方の出展を楽しみにしたい。

## ◆総会・第二回「関西現代俳句大会」

(平成二十二年四月二十四日)

### ①「総会」

総会は年一回、会計年度の終わりの

出版は景気の動向に左右されるので例年増減の幅は見られるが、今回は句集十七、エッセイ三、合計二十と言う例年よりやや少ない出展になったものの、こんな時代であればその会員の地



総会風景 安西幹事長

頃に開催されるが、ここで過去一年間の成果を出席の会員に報告し、会計に遺漏のないことを報告し、承認を頂いた上で次年度の活動予定や予算を認めて頂く大切な機会である。まさに協会の基本となる集まりであり、どんな会でも必ず義務付けられているものだが、一般にはなかなか集まりにくいものである。幸い、当会では俳句大会と併せて同日開催することで、昨年より参加者が増え、今年は一一五名の参加と、必要な数を上回る委任状の提出を得て無事開催できた。今回の報告で特筆すべきことは、最近の予算使用の削減等の努力が実って相当の次年度繰り越し

を見、さらに再来年の全国大会の担当を控えて、理事を中心とする活動人員の増加及び理事の若返りが大幅に認められたことである。これにより会長以下役員総数は五十名となり、協力体制は整ったと言えるよう。

この大会に、昨年引き続き現代俳句協会幹事長の安西篤先生にご臨席いただき、協会の現状など示唆に富んだお言葉を頂いたことは意義深いことであつた。

## ②「第二回関西現代俳句大会」

既に過去三十五回開催してきた、年末の「忘年句集祭」と並ぶ、「関西現代俳句大会」は、これからの関西の行事の二本の柱として、会員活性化と俳句愛好者の為の催しとして、今後継続開催することになっている。今年も第一回開催日から丁度一年目に当たる四月二十四日、同じラマダホテル大阪を会場に総会に続いて開催された。前回を超える三四八名の投句参加、一、四

忘年句集祭 会員紹介の「鴻の鳥」の皆さん



七六句の投句と言う予想を超えた結果が見られた。これは誠に喜ばしいことで、今後とも参加されることをお願いし、これからもさらに回を重ねて行きたい。なお、関係者、参加者には大会終了後「作品集」をお配りしたが、次は第三回の募集に入る予定である。(大会の結果は本号の1頁からの記事をご覧ください)

## ◆その他の活動

### ①広報活動 ホームページの運用

当会の二本の柱である「総会・俳句大会」及び「忘年句集祭」を更にバツ

クアップするものとして、年一回のプリント媒体広報活動である「会報」の発行及びホームページ（HP）の常時運営がある。HPは行事毎の予告や結果報告、協会の運営、その他臨時のお知らせ等についても効率的に掲載し、幅広く活用されているが、特に巻頭の会員によるエッセイが好評である。

## ②「会報」の発行

当協会員は、約一、一〇〇人であるため、メール便にしても送料が高つくので他の地区協会のように、年に数回も発行出来ない。そこで速報を必要とするものについては常に内容を入れ替えているHPをご覧いただきつつ、会報は年一回まとめて発行する状況にある。担当は広報部である。

## ③青年部の活動

どの協会も苦慮しておられると思うが、青年部の現状は微妙である。五十乃至五十五歳を上限とする若い会員が

入会しないのが伸び悩みの主因であるからだ。この点は一層努力をしなければならぬようだ。それでも青年部としては年二回、シンポジウム、句会と活躍は続けられて好評である。



宴会場の揃い踏み（左から豊田会長、安西幹事長、宇多協会々長）

## ④新会員の獲得

毎年のことであるが、協会会員の老齢化に伴なう減少化は避けられない。関西もご多分に漏れず同じ傾向にあるが、それでも会長を先頭に、有力結社の主宰のお力添えもあつて努力を重ねている。来年度も一層獲得に努めたい。皆さんもぜひご協力下さい。

## ⑤新しい催しの動き

先述のように当会の行事は「総会・関西現代俳句協会」及び「忘年・句集祭」を2本の柱として運営しているが、新しい動きとして、かねてより新入会員から要望の多かった「初心者・中堅俳人向け俳句講座」を開講する運びとなり、先般「会長および副会長会議」でご承認いただいたので、来る十一月より開講するため鋭意準備中である。詳しくは本号内の記事（八頁）をご覧の上お申込みいただきたい。ただし、定員は百名限定である。

（尾崎 青磁）

# 五・七・五の世界

今すぐ役立つ作句のポイント講座開講

関西現代俳句協会では、この度、俳句の初心者・中級者向けの講座を開講することになりました。

俳句に親してみたいが、いろいろな制約があつて難しいという方、もつと巧くなりたいという方のための講座です。

この機会に「作句のポイント」を学びませんか。

講師は現代俳句協会会長・宇多喜代子氏と関西現代俳句協会会長・豊田都峰氏をお招きしています。両講師はご多忙の中、快くお引き受けくださいました。詳細は左記のとおりです。

日 時

第一回講座

平成二十二年十一月十五日(月)

午後一時～五時

会 場 (次頁の添付の地図をご参照ください)

中央電気倶楽部 五階・五二三号室

〒五三〇一〇〇〇四

大阪市北区堂島浜二丁目一番二十五号

電話 〇六一六三四五一六三五

講 師

宇 多 喜代子 現代俳句協会会長

豊 田 都 峰 関西現代俳句協会会長

一年間、各四講座をお願い致します。

内 容

五・七・五の世界 作句のポイント

講演回数

第一回講座を平成二十二年十一月十五日(月)、二回目以降、平成二十三年二月十四日(月)、五月、九月、の年四回開催いたします。

講演時間

午後一時～五時。

一回二講座とし、一講座九十分。

会 費

一五〇〇円(前もつてチケットを販売します。限定百枚。先着順)。会員・非会員の有無を問わずご参加ください。

参加募集人数一〇〇名。

担当者(お問い合わせ先)

〒五六一一〇八六一

豊中市東泉丘一―五―三―三〇三

電話 〇六一六八四九―二五七四

桑 田 和 子

〒六一五一〇〇一一

京都市右京区西院東淳和院町三四

電話 〇七五―三二―一六四三

村 田 あを衣





本会の澁谷 道さん  
 第十四「現代俳句大賞」受賞!



澁谷 道さん

平成二十二年度の「第十回現代俳句大賞」選考会で、大阪市在住の澁谷道さんの受賞が決定した。この栄えある、協会最高の賞はその前身である「現代俳句協会大賞」（平成元年制定）には、永田耕衣（第二回）、桂信子（第十一回）の両氏が受賞されているが、「現代俳句大賞」に改称されてからは、受賞者がぐんと増加した。

第二回到鈴木六林男、第三回伊丹三樹彦、第四回和知喜八、第七回和田悟朗の各氏、そして今回の第十回到澁谷

道さんと、実に七人の会員が受賞されている。ちなみに澁谷さんは以前昭和五十九年度の第三十一回「現代俳句協会賞」も受賞されている。

表彰日は今年三月二十七日。東京上野の東天紅で開催された「現代俳句協会通常総会」の席上で、宇多喜代子会長から栄えある大賞が贈られた。この時友人として車椅子の澁谷さんの介添えをされたのが俳人茨木和生氏であった。

澁谷さんの授賞理由は「古典に培われた緻密な言語感覚と、主情に富んだ心象風景を基盤にした作品活動を続け、現代俳句の主要な担い手の一人になつた」と言うことである。



澁谷さんは、現在、「海程」の同人であると同時に、「紫薇」代表として句作に励んでおられる。また『紫薇』ほか十冊の句集を上梓され、受賞後もますます盛んな句作への情熱を続けておられることを喜びたい。

（尾崎 青磁）

澁谷さんの近詠句

鏡面の奥行きに混む冬ガーベラ  
 寒紅やおもたきことば紙め均し  
 母の化粧けしひつひに見ずして寒椿  
 白椿蕊けしひのふるへるメゾ・ソプラノ  
 大束の霞草買ひ濃き珈琲

（事務局抽出）

お祝いのことば

豊田 都峰

俳人は作品が全てである。そして作品は作者を離れてひとり歩きする。作者を評価するのではなく、作品が評価される。その結果が作者に返る。関西にとつてたいへん嬉しいことである。おめでとございました。

# 新会員の一句

今年度、現代俳句協会にご入会された皆さんから、一句づつお寄せいただきましたので、ご披露致します。(到着順)

群離る蛩は自我を貫くか 南海俳句会 古梅 敏彦  
 自意識を離れおはぐるとんぼかな 船団 塩見 恵介  
 青簾笙の笛の音いづこより 風樹 かつら 澤  
 仮通夜の柩に掛けるアロハシャツ 蛩 清島 久門  
 亡き夫に待つていてねと 星会う夜 青群 梶 遥子  
 雑草と呼ぶな我輩蓼の花 蕪の会・天籟通信 山本 紫苑  
 花菖蒲書いてみようか男文字 住 妙子  
 さよならの語尾奪われて蝉しぐれ 半夜 中村 聰一  
 赤い金魚黒い金魚も夜は眠る 槐 谷岡 尚美  
 なお続く母のはなしや虫の夜 自鳴鐘 鈴木 敬治  
 花折時下れば湖や新樹光 藍 西村たく子  
 額縁を歩み出て来る白日傘 蕪の会・天籟通信 谷口 久子  
 湖を一つ焦がして夏日落つ 花筐 尾家 國昭  
 炎昼の貌へイエローカード出す 鈴木みのり  
 すててこや酒呑むために飲む薬 里 小豆澤裕子  
 輸送船見送りし日よ昭和の日 京鹿子 中村 久子  
 諾うは男の背中敗戦忌 藍 五井 明美  
 そのへんのもので間に合う草の花 暁 大岡 渥美  
 振り向けばドレスの香る巴里祭 藍 峯 悦子

天平の月光すくひし貝の匙 槐 近藤 紀子  
 露の臺せせらぎ跨ぐ獣道 一幡 静江  
 寒林を影あたらしく出でにけり 槐 熊川 暁子  
 零余子こぼれ足は葛に掛かりけり 暁 佐藤 公子  
 秋あはれ死よりも生がうとましく 自鳴鐘 米津 対山  
 旅の夜はつきぬ話に遠花火 京鹿子 松井登与子  
 海へ向く野筋の石も春めきぬ 暁 竹口 昇  
 能舞台浄めてありぬ謡初 藍 後藤伊都子  
 春筍や土のほひの台秤 きりん 森 節子  
 かつて父の征きし国より霾れる 藍 谷口 富枝  
 飛びそうな メモにペン乗せ 夕涼み 藍 谷口 富枝  
 蝶番ねじこむ家の年の暮 ロマネコンテ 藍 谷口 富枝  
 遠伊吹晴れて霞切繁きかな 風樹 春菜めぐみ  
 夏空の鳥になるまで飛んでゆけ 響 妹尾 良子  
 「ゴメンな」と彼のひと言団扇風 響 大宮 正暎  
 影踏み影に隠れたおとうとよ 藍 山近由起子  
 SLに乗れば少年栗の花 暁 栄次 真里  
 黒揚羽ゆったり舞って訃報来る 暁 南 節子  
 歳時記を繰ってまた繰る春の宵 暁 堀 敬子  
 牡蠣船の障子に揺れるネオンかな 暁 太田 郁平

この他にも、新会員として登録された方は十人、合計四十三人の方々を会員としてお迎えしました。これからも俳句を通じて、善き仲間との出会いを喜びたいと思います。

(事務局)

# 第三回「関西現代俳句大会」を成功させよう！

## ただ今投句作品を募集中、締切は来年一月三十一日

第一回の大会を上回る好成績で終わった第二回関西現代俳句大会です。関西

の会員はもとより、全国にまたがる会員及び俳句愛好者（非会員）の皆さんの熱烈な応援を得て、来年四月、第三回大会を実施します。

この会報の到着と同時に、会員の皆様のお手元には十二月の「忘年句集祭」のご案内と併せてご案内が届きます。募集開始から応募締め切りまで約四カ月と余裕はたっぷりありますので、未発表の作品を投句して下さい。

もちろん、前回同様会員外の方でも、俳句愛好者の方ならどなたでも応募して頂けますので、ぜひお友達もお誘いください。なお、会員外の方は当協会のホームページをご覧ください。また、投句の決まり等については後出の俳句

大会運営方針をご参照願います。

①投句料 三句一組二、〇〇〇円（何組でも可。会員はなるべく二組以上お願ひします）

②賞 大会賞 一名、秀逸賞 若干名、入選賞 若干名、佳作賞 若干名。

第二回では十八名の方が入選されました。なお今回からは以上の賞に加えて「選者特選賞」を新設することになった。これは十八人の選者からご自分でよいと思われる一句に与えて頂くもので、万一同じ句に重なっても授与されます。これで賞の範囲はぐっと拡大されます。

③投句用紙 差し上げますので左記へお申し込み下さい。なお、コピーも可です。

### ④申し込み先

〒六一一〇〇一四

宇治市明星町二一六一一

尾崎 青磁 方

関西現代俳句協会事務局

ファクスも可（〇七七四一二三一一四五九）

関係スケジュールは次の通りです。

①募集期間 十月以降～一月三十一日まで（当日消印有効）

②俳句大会 四月二十四日（土）午後  
ラムダホテル大阪にて開催

第三回「関西現代俳句大会」の選者は次の方々です。

### 〔固定選者〕

豊田 都峰・吉本伊智朗・豊長みのる・  
小泉八重子・室生幸太郎・吉田 成子・  
若森 京子・伊丹三樹彦・谷下 一玄・  
和田 悟朗・花谷 和子（十一名）

### 〔一般選者〕

岡崎 淳子（暁）・谷口 洋（駅）・

的場 秀恭(獅林)・鈴鹿 均(京鹿子)・  
三宅 睦子(鴻の鳥)・桂 鴻志(斧)・  
三宅岳童(俳句作家) (七名)

敬称略・順不同 計：十八名

\*「固定選者」は在任中は毎年選者を  
続けて頂きます。

「一般選者」は毎年交代制とします。

## 二〇一二年は「関西発」の全国大会です!

現代俳句協会恒例の全国大会は、  
必ず毎年開催され、東京はもとより、  
九州と名古屋と関西が参加していま  
す。これは大相撲の開催と同じ方法  
で、例えば今年は北九州の小倉、来  
年は東京、再来年つまり二〇一二年  
は関西、そしてその次の年は東京に  
戻り、さらにその次は名古屋開催と  
なりこの方法が六年ごとに繰り返さ  
れます。

と言うことで、関西発の「現代俳句  
協会全国大会」は、再来年の十月末  
の予定で、前回即ち平成十八年十月末  
に京都国際ホテルで開催された「第四

十三回全国大会」以来の開催となり  
ます。何しろ関西は広域なので、会場  
の設定も次は大阪の開催となります。

この大会を成功させるには、一に  
も二にも全国の会員はもとより、非  
会員の皆様方から寄せて頂く投句の  
数にかかっています。お蔭で前回は一  
五七三九句を頂き関西の底力を発  
揮することができました。次回も豊  
田会長とともに一丸となつて、更に  
上回る投句数を獲得しましょう。尚、  
大会当日の講演は金子兜太名誉会長  
の承諾を頂いております。前回に上  
まわる皆様のご協力を期待します。

## 事務局便り①

### 青年部この一年

いつも青年部活動にご理解、ご協力  
いただき有難うございます。

青年部はこの一年の活動として、平  
成二十一年十一月に和田悟朗氏を、平  
成二十二年五月に久保純夫氏をそれぞ  
れゲストにお招きして句会を行ないま  
した。いずれの句会も和気あいあいと  
した中に活発に意見が交わされ、有意  
義な時間を過ごすことができました。

また、平成二十二年一月には「鈴木  
六林男」を取り上げ、第六回青年部勉  
強会を開催しました。ゲストには生前  
かわりの深かった、宇多喜代子氏・  
久保純夫氏をおまねきしました。

「鈴木六林男」の活きた時代や俳句  
の背景、生前のエピソードなども細か  
くうかがうことができました。参加者  
の何人かは生前の「鈴木六林男」を知っ  
ていることもあり、思い出の残る俳句  
について、時間いっぱいまで話の途切  
れることはありませんでした。俳句を  
読み味わうと言うだけではなく、俳句  
に対する姿勢など学ぶことが多かった  
のではないかと思います。

行事予定は関西現代俳句協会ホーム  
ページでもお知らせしますので、ご参  
加、ご支援をお願いします。又、ご意  
見ご希望等お寄せ頂ければ幸いです。

(青年部部长 上森 敦代)

## 豊田会長に

### 今年の「俳句四季大賞」

去る七月七日、豊田都峰会長にその第八句集『土の唄』（東京四季出版）に対し、「俳句四季大賞」が贈られた。同時受賞者は神蔵器氏の『氷輪』（角川書店）であるが、どちらも平成二十一年一月から十二月までに刊行された句集が対象である。

## 事務局便り②

### □ 経理部からのお知らせ

今年には経理部をお預かりしている者としては、大変嬉しいお知らせができません。昨年発行のこの会報で、年々経費が増えることになり、何とかしなければと云う気持ちで、これからの行事やそれに伴う費用を見直すことをお約束いたしました。

この事はかなり困難が予想されたのですが、会員の皆様のご協力のお蔭で、なんとか乗り切ることができました。

しかも「第二回関西現代俳句大会」は投句数も一四七六句と、前回に比べて約二割方のアップとなりこれが黒字の源となりました。

来年四月の第三回大会も軌道に乗せて、頑張つて行きたいと思つております。その他、諸経費の節減など一層引き締めてゆくつもりです。

もう一つ、秋十一月から関西で新しい俳句講座が開かれることになりました。主に初、中級クラスの方々を対象に「作句のポイント」を学んで頂くという講座です。これは出来るだけ少ないご負担で参加して頂けるよう検討中です。講師は現代俳句協会の宇多喜代子会長、関西現代俳句協会の豊田都峰会長と言う豪華メンバーです。年四回開講、募集人員は百人です。是非ご来聴下さい。

俳句には仲間が大切です。協会ではいま残念なことに、会員は減りつつあります。「一人一人が一会員を」のスローガンの下、各結社の主宰や代表及び会員の皆さんのご協力を頂いて、これからも活気のある関西現代俳句協会をご一緒に築こうではありませんか。

（経理部長 村田あを衣）

## 謹 悼

平成二十一年七月一日より、本年六月末までの期間中に、現代俳句協会において受け付けた、ご逝去会員のお名前をお知らせし、謹んでご哀悼申し上げます。

記

岡田	愛子	彦根市・龍泉 (平成二十一年十月)
赤井	邦臣	福知山市・京鹿子 (平成二十二年一月)
北村	弘子	京都市・元香古 (平成二十一年四月)
塚本	務人	京都市・京鹿子 (平成二十一年十一月)
濱崎	史朗	京都市・寒雷 (平成二十一年十月)
岡部	ひさ子	大阪市・大樹 (平成二十二年二月)
松井	三棹	豊中市・俳句作家 (平成二十二年一月)
小川	湖月	相楽市・香流 (平成二十一年十二月)
白井	眞貫	神戸市・秋 (平成二十一年十一月)
瀬戸	すず子	伊丹市・香群 (平成二十一年五月)
山田	光子	川西市・藍 (平成二十一年十一月)
立岩	利夫	茨木市・海程 (平成二十二年七月)

注：協会受付順

( )内は退会年月、敬称略

平成二十二年八月十五日

関西現代俳句協会

# 平成21年度 決算報告書

(自・平成21年4月1日～至・平成22年3月31日)

2010年4月24日

関西現代俳句協会 (単位: 円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	1,034,954	総会費	799,890
本部交付金	2,050,800	会議費	70,020
総会費	595,000	俳句大会費	366,672
俳句大会投句料	748,000	句集祭費	738,669
句集祭参加費	562,000	青年部活動費	48,457
青年部活動費	41,500	印刷費	299,699
雑収入	1,760	事務費	103,617
		通信費	408,645
		交通費	203,980
		役員手当	461,000
		雑費	76,737
		次期繰越金	1,456,628
合計	5,034,014	合計	5,034,014

収入 5,034,014円 - 支出 3,577,386円 = 1,456,628円

残金 1,456,628円は次年度へ繰り越します。

会計 村田 富美子 印

平成22年4月12日

上記の通り、適正に処理されたことを認め、報告いたします。

会計監査 若森 京子 印 川村 祥子 印

# 平成22年度 予算

(自・平成22年4月1日～至・平成23年3月31日)

2010年4月24日

関西現代俳句協会 (単位: 円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	1,456,628	総会費(会場費・懇親会費・その他)	800,000
本部交付金(本年度会員数1,000人)	2,000,000	会議費(諸会議費)	100,000
総会費(懇親会費)	500,000	俳句大会費(会場費・賞品費・諸雑費)	500,000
俳句大会参加費(投句料)	900,000	句集祭費(会場費・懇親会費・その他)	700,000
句集祭参加費(懇親会費)	500,000	青年部活動費	100,000
青年部活動費	50,000	印刷費(会報・封筒代・その他)	300,000
		事務費(事務用品)	100,000
		通信費(郵送料・電報電話代・その他)	500,000
		交通費	200,000
		役員手当	500,000
		雑費(慶弔費込)(消耗品代)	50,000
		次期繰越金	1,556,628
合計	5,406,628	合計	5,406,628

# 事務局便り ③

## 今年のホームページののご案内

ただ今、ホームページに掲載中です！

### ◆今月のエッセイ欄

二〇一〇年度

一月 「冬至の太陽」 和田 悟朗  
 二月 「俳句は夢か幻か」 小野 田魁  
 三月 「嬉しくて一寸哀しい」元氣七〇パス

四月 「義経道（よしつねみち）」

五月 「二月の六甲」 岡崎 淳子  
 六月 「浅田真央さんのこと」

七月 「蒲公英」 戸村 敏子  
 八月 「きくよ夏の句より二題」 吉田 星子

九月 「腎臓移植」 的場 秀恭  
 『今月のエッセイ』執筆の依頼については事務局から順不同でお願いしています。

### ◆会員の著作（二〇〇九年度分）

坂井 法 『古風琴』

二〇〇九年 一月

桂 鴻志 『捨鹿の里』

伊丹三樹彦 『続知見』

古梅敏彦 『山峡の賦・随筆』

田中靖昌 『蝸牛Ⅱ』

丸山佳子 『緋衣・復刻版』

阪本 彩 『湖の心音』

宇多喜代子 『名句十二か月・鑑賞集』

馬場民代 『何処辺』

小野田魁 『河伯』

竹貫示虹 『吾嬬はや・句文画集』

竹貫示虹 『素秋の水』 十一月  
 豊田都峰 『土の唄』 十一月  
 藤川游子 『銀川』 十二月  
 阪本 彩 『彩の四季』 十二月  
 伊丹公子 『博物の朝』 十二月

伊丹三樹彦 『続知見』 五月  
 出口善子 『羽化』 七月  
 平成二十二年十二月四日開催の句集祭に向け、会員の句集発行情報をお寄せ下さい。

※ホームページ連絡先  
 ホームページを活用して下さい。  
 〒567-0832 茨木市白川1-6-8  
 関西現代俳句協会・広報部 前田霧人

## 二〇一〇年度開催の行事

◆青年部句会  
 日時 平成二十二年五月三十日（日）実施  
 場所 財団法人 柿衛文庫  
 ゲスト 久保 純夫氏

◆第六回勉強会  
 日時 平成二十二年一月三十一日（日）実施  
 場所 財団法人 柿衛文庫  
 テーマ 鈴木 六林男

◆第二回関西現代俳句大会、二〇一〇年度  
 総会、「懇親会」  
 日時 二〇一〇年四月二十四日（土）  
 会場 ラマダホテル大阪

十四時三〇分から「第2回関西現代俳句大会」、  
 十六時〇〇分から「総会」、十七時十五分から「懇親会」と進行し、第二回関西現代俳句大会は一人二名の会員、非会員の方々のご参加を得て盛況のうちに無事終了しました。多数のご参加ありがとうございました。詳細は本会報の第一ページをご覧ください。三四八

人の方々から一四七六句頂きました！  
 （以上、ホームページ掲載分）

## 二〇一〇年後半から来年にかけての行事

### ◆「五・七・五講座」の開講

俳句に親しみたいと云う初心者や、やればやるほど難しいとお悩みの方の為の作句のポイントを学ぶ講座です。講師は、宇多喜代子現代俳句協会会長、豊田都峰関西現代俳句協会会長と最高の講師をそろえました。年間四回の講座です。ただし一回百人ですからお早くとお申し込みを。

日時（第一回）平成二十二年十一月十五日（月）午後一～五時

会場 中央電気倶楽部（大阪市北区堂島浜）

\*詳細は本会報八ページをご参照ください。

### ◆「忘年句集祭」

恒例の今年の「忘年句集祭」は、来る十二月四日、ラマダホテル大阪で開催致します。詳しくは同封のご案内状をご覧ください。なお、昨年末から十一月までに句集、エッセイ等を出版された方は奮って出展して下さい。

### ◆「第三回関西現代俳句大会」、「総会」「懇親会」

日時 二十三年四月二十四日、ラマダホテル大阪にて開催。詳しくは同封の案内状をご覧ください。

### ◆「第三回関西現代俳句大会」の投句募集

詳しくは本会報十二ページをご覧ください。

### 関西現代俳句協会 会報・第三十九号

発行・平成二十二年十月二十日

発行人・豊田 都峰

編集人・尾崎 青磁・前田 霧人

事務局

〒六一一-0101 一四

宇治市明星町一四六一 尾崎方

TEL/FAX 〇七七四-1311 四五九